

プロダクトデータシート

シーカ®ルガゾール-919 UR

コンクリート打継目処理剤(超遅延タイプ)

国土交通省[NETIS]登録番号 KT-230100-VE

概要

シーカ®ルガゾール-919URは、従来のルガゾールCと同様にグルコン酸塩を主成分とし、かつ、傾斜面に散布しても流れを抑制する成分として、アルカリ増粘タイプの増粘剤を配合し、更に最大で3日後の洗い出しが可能になるコンクリート打継目処理剤です。コンクリート打継目に散布または塗布することにより、コンクリート表面薄層部の凝結・硬化を遅延させ、高圧洗浄機などで、レイタンスや脆弱部の除去を容易にまた均一に行うことができます。シーカ®ルガゾール-919URは水平打継ぎ以外に、勾配5%程度までの傾斜面の打継ぎにも適用できます。さらに、ブリーディング水によって流されにくいことから、これまでブリーディングの収束を待ってから行っていた散布は、コンクリートを打設後、粗均して直ちに散布することが可能となり、作業の効率化も期待できます。また、弊社が推奨する噴霧器を使用することで、散布後の視認性が向上するので、撒きムラ防止にも期待できます。

用途

- 傾斜面も含むコンクリートの水平打継目処理

- 特に勾配5%程度までの傾斜面の打継目処理
- ブリーディングが多く流れやすい場合やブリーディングの収束時間がかかる場合
- 骨材洗い出し化粧仕上げなど
- シーカ®ルガゾール-919の超遅延タイプ

性質 / 特長

- 従来と同様に電動スプレーで散布できます。
- 傾斜面やブリーディング水に対して流されにくく、従来と変わらない効果を発揮します。
- コンクリート打継面のレイタンスや脆弱部を容易、かつ均一に除去できます。
- コンクリート表面薄層部のみ遅延させるため、レイタンスや脆弱部の除去処理の時間的制約が少なくなります。
- コンクリート打継引張強度のバラツキも少なく、チップング処理と同程度以上になります。
- ウエットブラスト、チップング処理に比べて経済的で、工程短縮・省力化が図れます。
- コンクリートや鉄筋に悪影響を与えません。
- 週末金曜日に噴霧し、週明け月曜日の洗い出しが可能です。

製品情報

主成分	グルコン酸塩と糖類
荷姿	18 kg 缶
保存期間	未開封で直射日光を避け、冷暗所に保管して12カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none">直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。凍結した場合(氷点:-1℃)は自然解凍させ、よく混合して使用して下さい。
外観/色	白色液体
密度	1.10~1.15 g/cm ³
粘度	5.5~5.7 mPa・s 測定値例
pH値	5.7~5.9 測定値例

施工情報

推奨使用量

- 標準使用量は原液で300g/m²です。(季節・気温・現場環境・洗い出し時間に応じて200～400g/m²)
- コンクリート打設後、コテなどを用いてコンクリート表面をならします。
- シーカ®ルガゾール-919 URはコンクリート水平上面や勾配5%以内の傾斜面に散布して使用します。
- コンクリート表面を粗均し後、凝結始発前に噴霧器などでシーカ®ルガゾール-919 URをコンクリート表面に均一になるように散布します。
- 適宜、散布後、養生マットなどで覆い、乾燥や雨から保護して下さい。
- 6～72時間後に高圧洗浄機などでコンクリート表層部を洗い流します。(水が使用できない場合はジェットタガネなどを使用して下さい)
- 洗い出し終了後のコンクリートは十分に養生を行って下さい。

製品データの基礎

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

使用上の注意

- コンクリート洗い出し可能時間や洗い出し深さはコンクリートの材料(セメント、骨材など)、配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験を行った上でご使用下さい。
- 高強度コンクリートに使用する場合は通常より洗い出しに時間が掛かる傾向がありますので、あらかじめ試験を行うことをお勧めします。
- 側型枠が近くにある位置での水平打継目処理の際は、シーカ®ルガゾール-919 URが型枠面に沿って流入することがあるため、散布をひかえるか、防止用の面木、垂木などをコンクリート天端に固定し防止して下さい。
- 缶の底面の一辺を床につけて前後に5回振り、更に、他の一辺で同様に5回振ってからご使用ください。
- 一度開封され、材料が比較的長時間直射日光に曝された場合、色が抜けて透明に近くなる場合がありますが、性能に変化はありません。
- 異物混入などによりpHが高くなると、粘度の増加やゲルが発生することもあります。生じたゲルは、散布に使用する噴霧器を詰まらせる原因となりますので、噴霧器は水道水や清水で十分に洗浄してから使用してください。噴霧器に余り元の缶に戻すことは、ゲル発生の懸念から避けて、使いきる量で使用してください。
- 多量のシーカ®ルガゾール-919 URを誤ってコンクリート打継面への散布や、こぼした場合は、シーカ®ルガゾール-919 URおよびその部分のコンクリートを除去して下さい。

規制

各地域固有の規制の結果、製品のパフォーマンスが国により異なる可能性があることにご注意ください。実際の施工現場に関する情報は、その地域のプロダクトデータシートをご確認ください。

免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシートの最新版をご参照ください。プロダクトデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。C15 各地域固有の法令及び規制に対しても、上記免責条項が適用されることがあります。上記免責条項を変更するには、いかなる場合でも、スイス・バールにあるシーカ本社法務部による許可が必要となります。